

◎ 圧縮機オーバーホールによる

供給スケジュールの変更について（予定）

ヘリウム液化用圧縮機（B・O・C）は設置以来約12年間、15,000時間以上稼働し、あちこちに相当ガタがきています。そのため、全面的なオーバーホールを行なうことにしました。まだ詳しい日程はわかりませんが、いまのところ10月28日～11月9日の2週間行なうよう準備しています。この予定でいくと11月5日～11月8日の週はヘリウムの供給ができなくなる見込みです。できる限り工事期間を短縮できるよう努力します。

なお、詳細が分かり次第改めてお知らせします。予めご承知おき下さるようお願いいたします。

◎ 液体ヘリウムの使用自粛のお願い

既にお知らせした通りヘリウム液化機のタービンが破損し、液体ヘリウムの生産量が大幅に落ち込み皆さんには大変ご迷惑をおかけしていますが、タービンは修理中ですが破損が思ったより大きく、修理期間が当初見込みより長くかかりそうです。

そのため供給量の制限期間も長くなるのが余儀なくされてしまうことになり、物理学会前の大事なときに必要量を供給できないことに心からお詫びします。つきましては利用者によるヘリウムの使用量減の自主規制をおねがいします。タービンが修理できしだい、一日もはやく正常運転ができるよう努力いたしますので、もう暫くご辛抱下さいますようお願いいたします。

◎ 供給スケジュール変更のお知らせ

9月第1週（9/3～9/6）
ヘリウムの供給を行ないます。

供給予定表では、9月第1週はオーバーホールとなっていますが、液化機不調による供給量の平均化及び圧縮機オーバーホール（上述）の代替のため、この週にヘリウムの供給を行ないます。

申し込みは従来通り8月30日（金）午後3時までです。

◎ 液体窒素自動補給装置の使い方についてのお願い

5月から使用している液体窒素の自動補給装置も、大きなトラブルもなく順調ですが、特に不慣れな人や初心者の人には注意していただきたい点があります。それは、容器の容量目一杯で設定量を入力し、現場を離れたため液体窒素が溢れたままになっていたことを度々見かけました。やむなく現場を離れる場合又は溢れ事故をなくすため、設定量は最大でも容器の容量の9割（空の時）以内で設定してください。又、初めての人には研究室でよく指導して頂くか、液化室まで訊ねて下さい。

◎ヘリウム回収率について

5月(5/13~6/3)の回収率は、以下の通りです。

$$\text{回収率} = \text{回収量} / \{ (\text{供給量} + \text{月始め在庫量}) - \text{月終り在庫量} \}$$

~~79.9%~~ 4693.9 6497.5 1073.0 1697.7

6月(6/3~7/1)の回収率は、以下の通りです。

$$\text{回収率} = \text{回収量} / \{ (\text{供給量} + \text{月始め在庫量}) - \text{月終り在庫量} \}$$

~~86.7%~~ 5784.7 7088.0 1697.7 2114.9

7月(7/1~8/5)の回収率は、以下の通りです。

$$\text{回収率} = \text{回収量} / \{ (\text{供給量} + \text{月始め在庫量}) - \text{月終り在庫量} \}$$

~~71.5%~~ 6600.4 9542.6 2144.9 2453.7

7月の回収率の低下は、液化室側の回収システムの不調によるものです。

